

## 第Ⅲ部 調査結果の詳細

### 【報告書を読む際の注意】

- (注1) 小数第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が全体の計に一致しないことがある。
- (注2) 「n」は「number of cases」の略で、質問に対する回答者の総数を表す。
- (注3) 図中「0」、表中「-」は皆無を示す。
- (注4) 図表中の選択肢は、回答率の高い順に並び替えている場合がある。また、表記の語句を短縮・簡略化している場合がある。
- (注5) 《 》は、2つ以上の選択肢を合わせて分析する場合に用いる。また、この場合の比率は実際の回答者数の合計から算出しているため、個々の比率の単純な合計とは値が異なる場合がある。
- (注6) 【地域別の状況】【性・年代別の状況】の図表では、地域や性・年代が不詳の者がいるため、内訳の合計が全体の回答者数と異なっている。



# 第1章 暮らし全般について【問1～問5】

## 1 生活総合満足度【問1】

### 【全体の状況】

現在の生活全般についてどの程度満足しているか尋ねたところ、「たいへん満足している」(6.6%)と「どちらかといえば満足している」(47.4%)を合わせた《満足している》は54.0%であった。

一方、「たいへん不満である」(4.2%)と「どちらかといえば不満である」(16.5%)を合わせた《不満である》は20.7%で、《満足している》が《不満である》を33.3ポイント上回った。

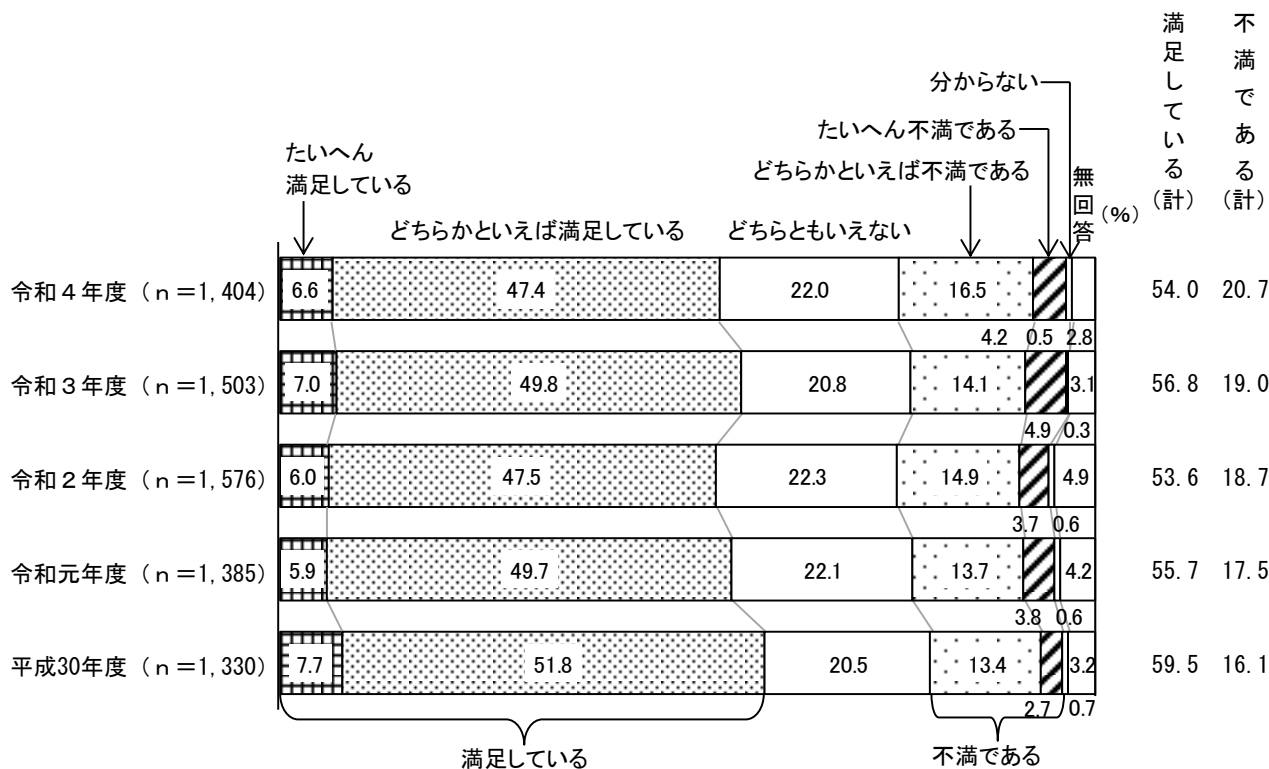
また、「どちらともいえない」は、22.0%であった。(図表1-1-1)

### 【過去との比較】

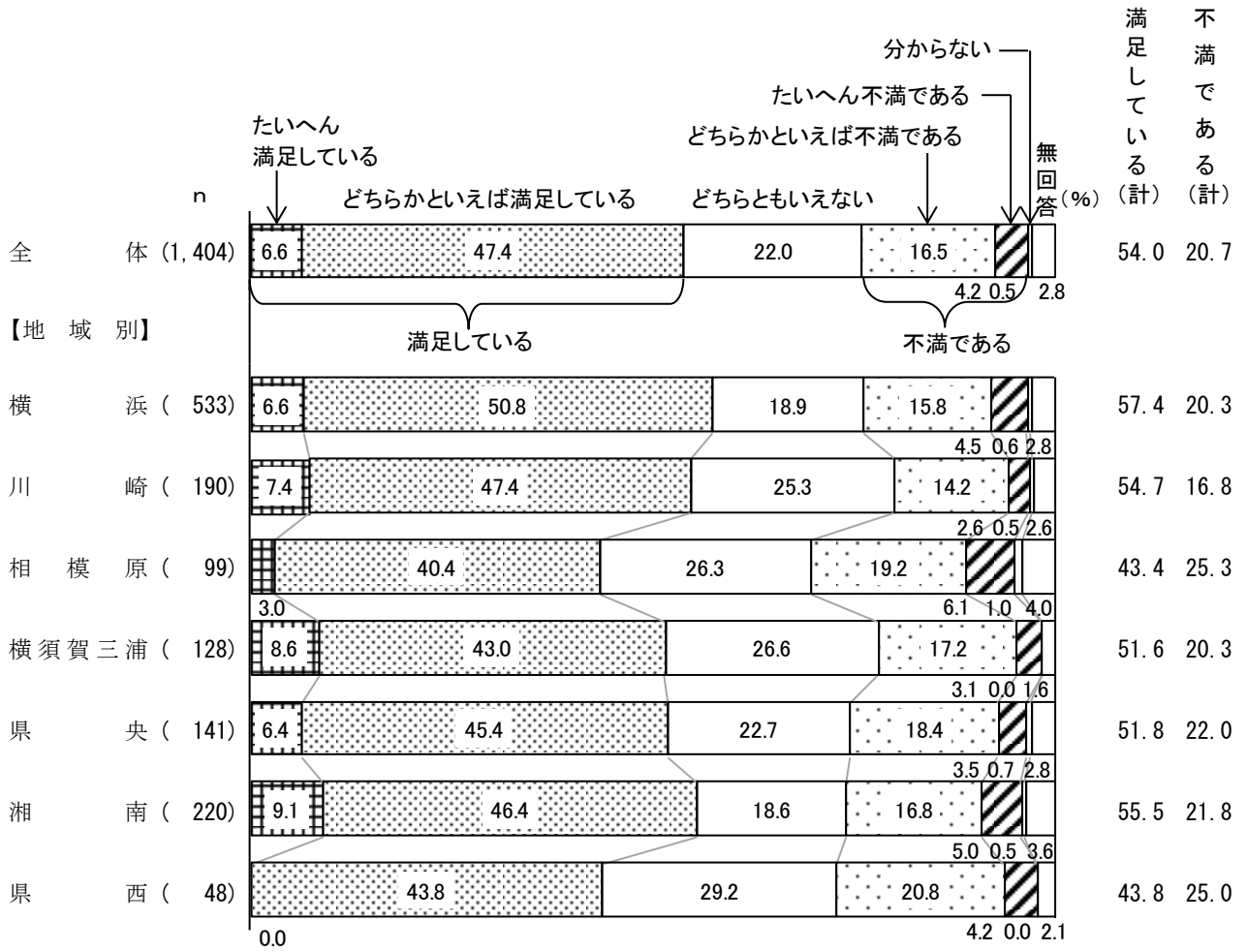
過去の調査と比較すると、《満足している》では、令和3年度は令和2年度と比べて3.2ポイント増(53.6%→56.8%)で、令和4年度は令和3年度と比べて2.8ポイント減(56.8%→54.0%)となった。

一方、《不満である》では、令和3年度は令和2年度と比べて0.3ポイント増(18.7%→19.0%)で、令和4年度は令和3年度と比べて1.7ポイント増(19.0%→20.7%)となった。(図表1-1-1)

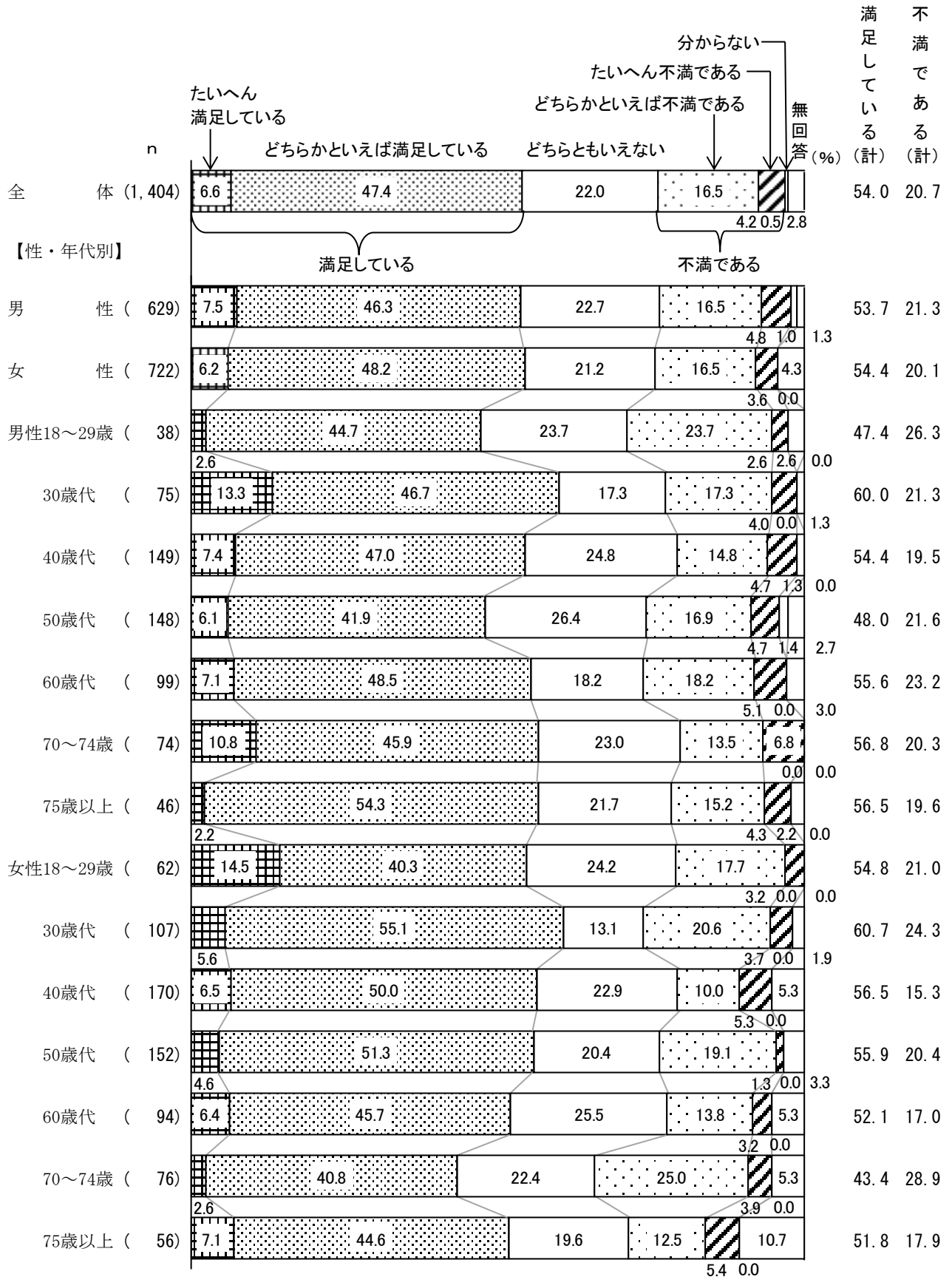
図表1-1-1 生活総合満足度－過去との比較



図表1-1-2 生活総合満足度—地域別



図表1-1-3 生活総合満足度—性・年代別



## 2 暮らし向きの変化【問2～問2-1】

### 【全体の状況】

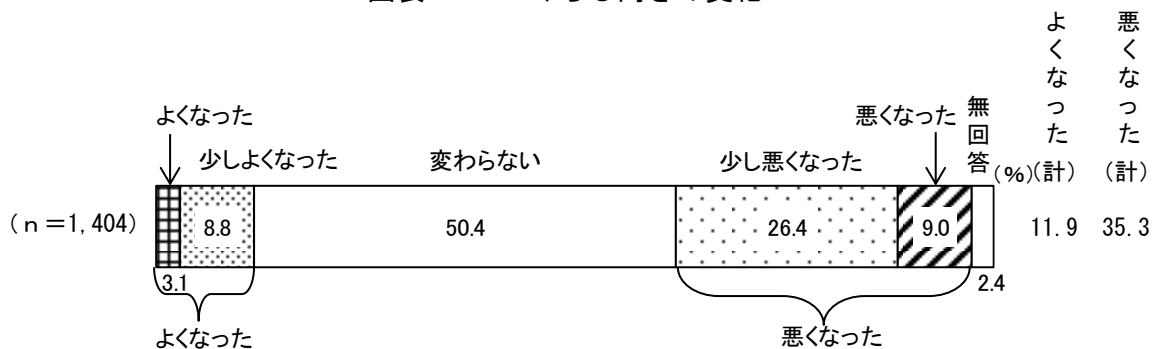
昨年と比較した現在の暮らし向きの変化について尋ねたところ、「よくなった」(3.1%)と「少しよくなった」(8.8%)を合わせた《よくなった》は11.9%であった。

一方、「悪くなった」(9.0%)と「少し悪くなった」(26.4%)を合わせた《悪くなった》は35.3%で、《悪くなった》が《よくなった》を23.4ポイント上回った。

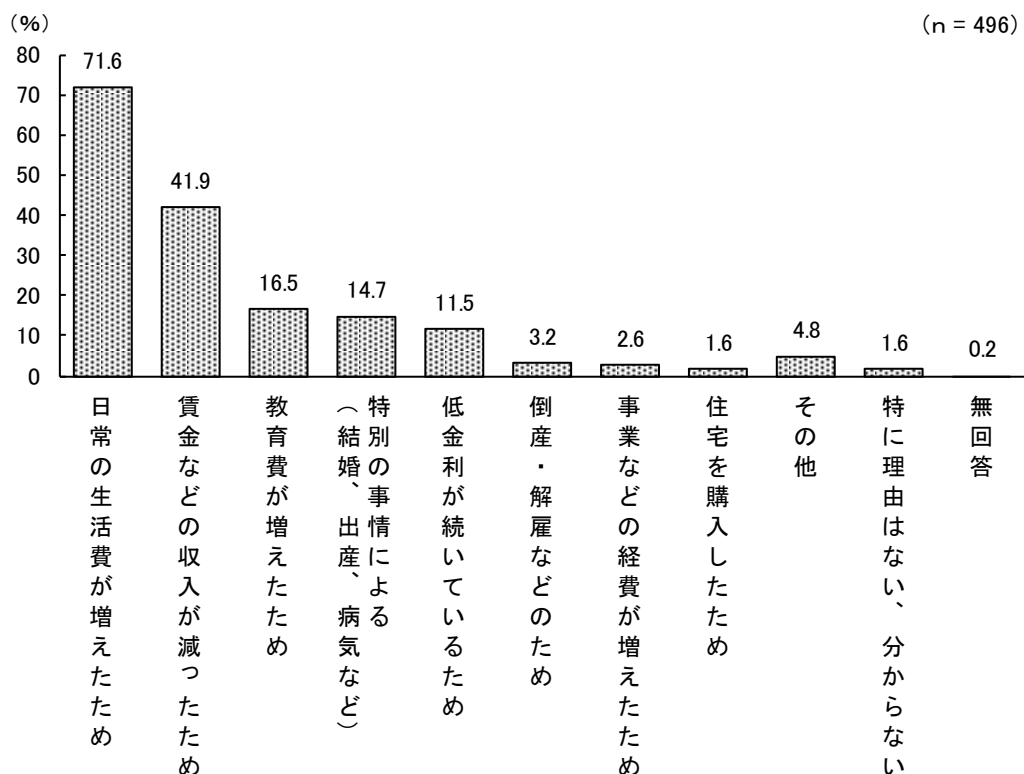
また、「変わらない」は、50.4%であった。(図表1-2-1)

暮らし向きが《悪くなった》と回答した496人に、その理由を複数回答で尋ねたところ、「日常生活費が増えたため」が71.6%で最も多く、次いで「賃金などの収入が減ったため」が41.9%であった。(図表1-2-2)

図表1-2-1 暮らし向きの変化



図表1-2-2 暮らし向きが悪くなった理由(複数回答)

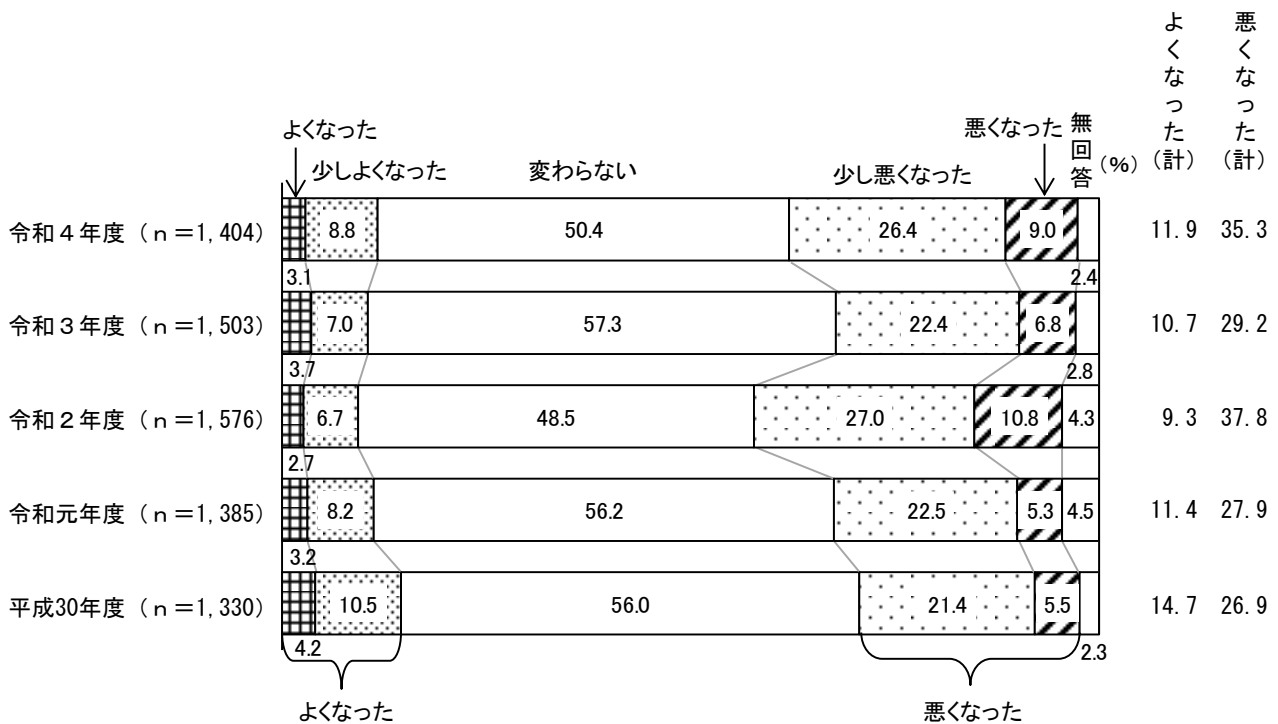


【過去との比較】

くらし向きの変化を過去の調査と比較すると、《よくなった》は、令和3年度は令和2年度と比べて1.4ポイント増（9.3%→10.7%）で、令和4年度は令和3年度と比べて1.2ポイント増（10.7%→11.9%）となった。

一方、《悪くなった》は、令和3年度は令和2年度と比べて8.6ポイント減（37.8%→29.2%）で、令和4年度は令和3年度と比べて6.1ポイント増（29.2%→35.3%）となった。（図表1-2-3）

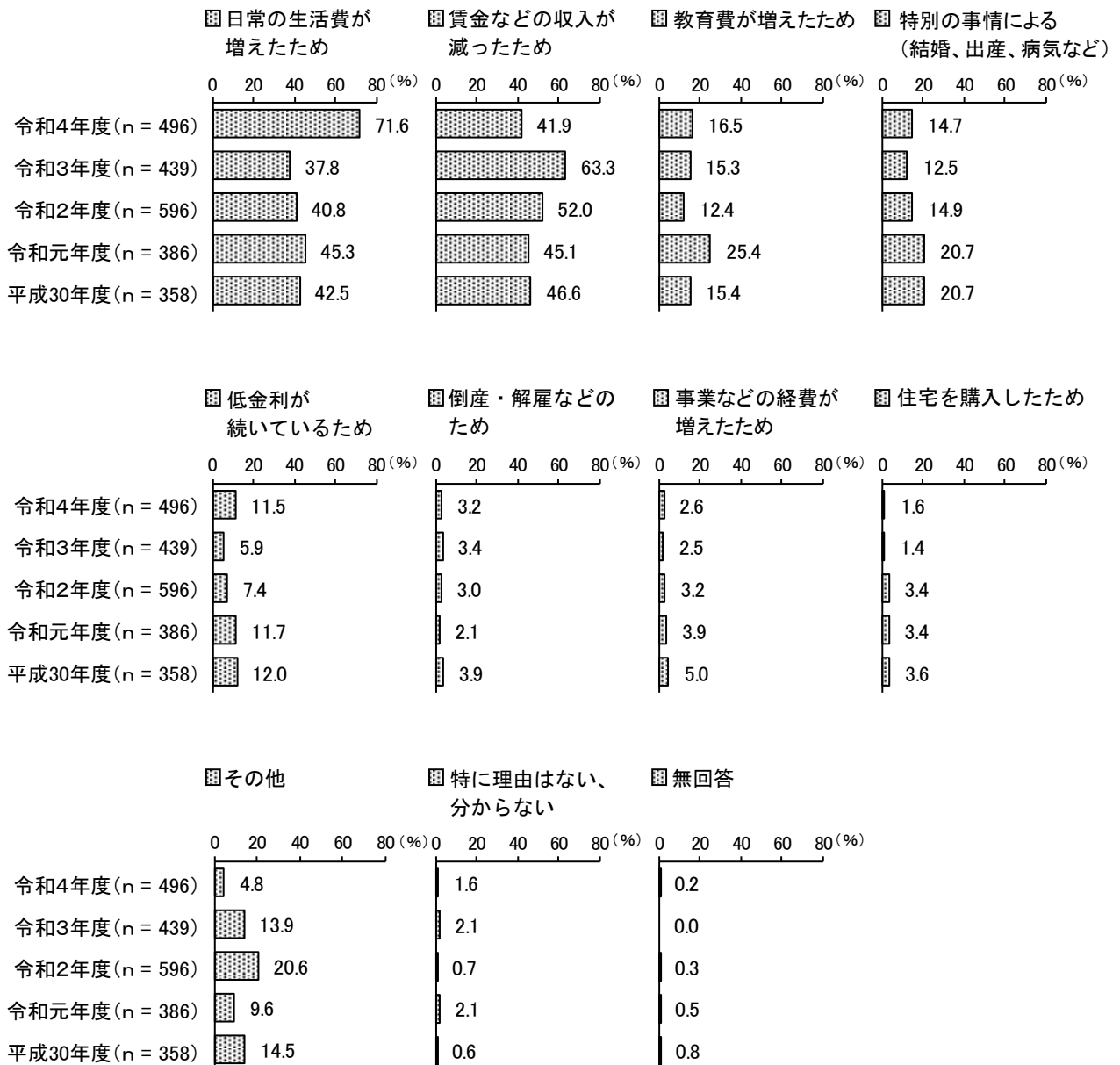
図表1-2-3 くらし向きの変化—過去との比較



くらし向きが《悪くなった》理由を過去の調査と比較すると、「日常の生活費が増えたため」は、令和3年度と比べて33.8ポイント増(37.8%→71.6%)となり、最も増加した項目であった。

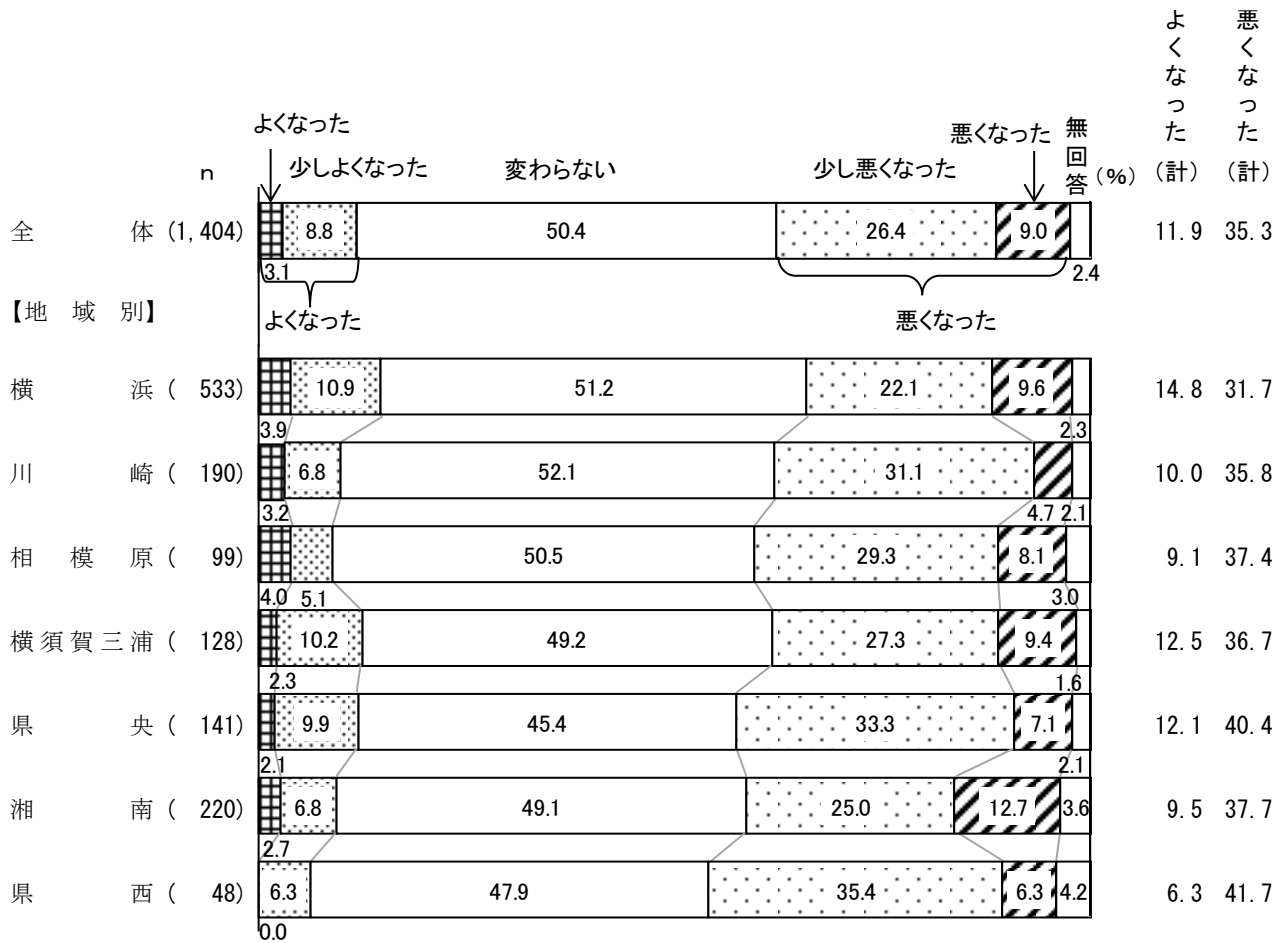
一方、「賃金などの収入が減ったため」は、令和3年度と比べて21.4ポイント減(63.3%→41.9%)となり、最も減少した項目であった。(図表1-2-4)

図表1-2-4 くらし向きが悪くなった理由（複数回答）－過去との比較





図表1-2-5 暮らし向きの変化—地域別

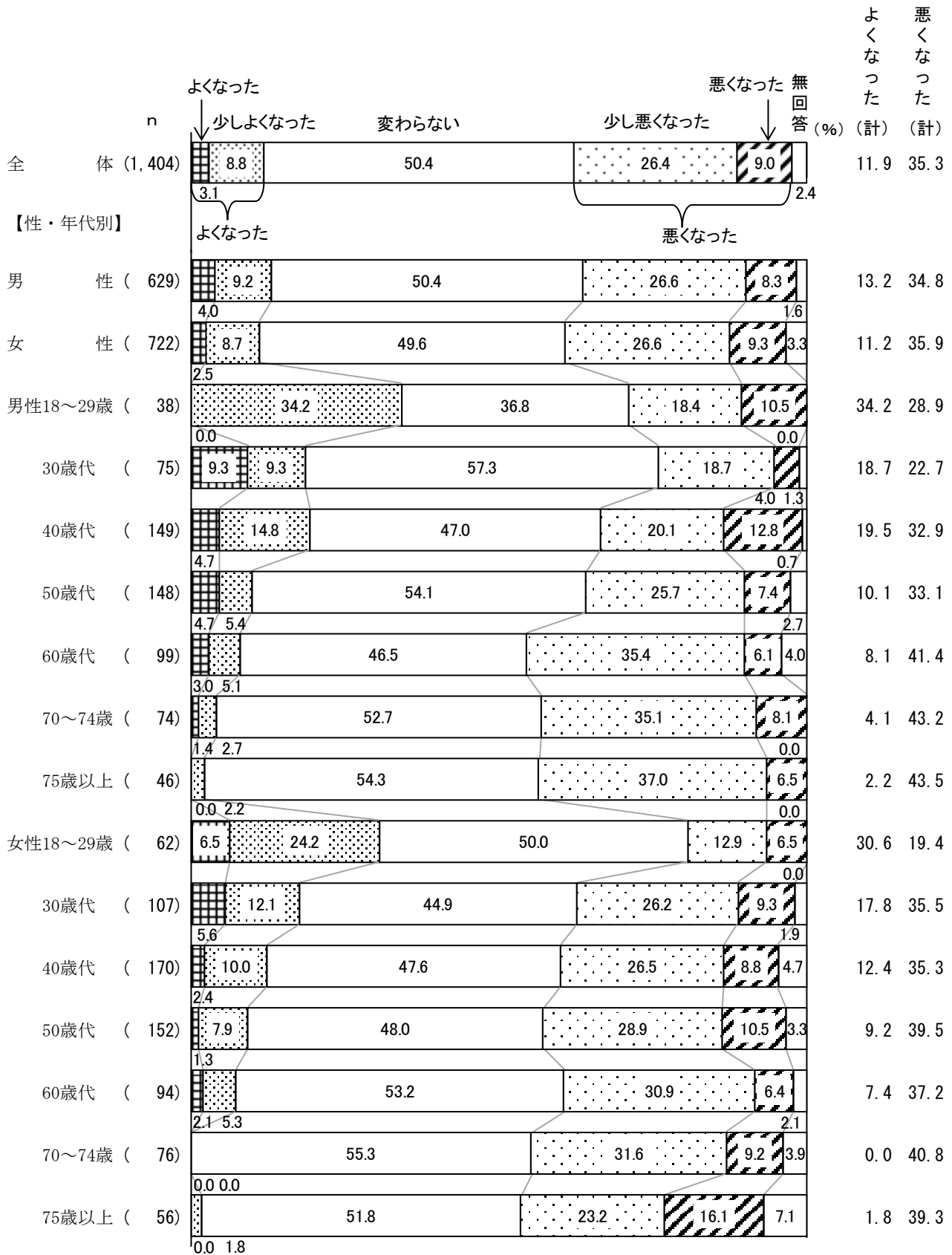


図表1-2-6 暮らし向きが悪くなった理由（複数回答）－地域別

(%)

	n	日常生活費が増えたため	賃金などの収入が減ったため	教育費が増えたため	産、病気など） 特別の事情による（結婚、出	低金利が続いているため	倒産・解雇などのため	事業などの経費が増えたため	住宅を購入したため	その他	特に理由はない、分からない	無回答
全 体	496	71.6	41.9	16.5	14.7	11.5	3.2	2.6	1.6	4.8	1.6	0.2
【地 域 別】												
横 浜	169	72.2	39.6	18.9	16.6	10.7	2.4	3.6	2.4	6.5	0.6	0.6
川 崎	68	72.1	47.1	8.8	16.2	14.7	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0
相 模 原	37	70.3	32.4	21.6	8.1	10.8	8.1	2.7	0.0	0.0	2.7	0.0
横須賀三浦	47	63.8	44.7	17.0	10.6	8.5	6.4	4.3	4.3	8.5	2.1	0.0
県 央	57	66.7	43.9	17.5	12.3	15.8	0.0	1.8	3.5	3.5	5.3	0.0
湘 南	83	73.5	39.8	14.5	16.9	13.3	6.0	3.6	0.0	2.4	2.4	0.0
県 西	20	85.0	55.0	20.0	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0

図表1-2-7 暮らし向きの変化—性・年代別



図表1-2-8 暮らし向きが悪くなった理由（複数回答）－性・年代別

(%)

	n	日常の生活費が増えたため	賃金などの収入が減ったため	教育費が増えたため	産、特別の事情による（結婚、出産、病気など）	低金利が続いているため	倒産・解雇などのため	事業などの経費が増えたため	住宅を購入したため	その他	特に理由はない、分からない	無回答
全 体	496	71.6	41.9	16.5	14.7	11.5	3.2	2.6	1.6	4.8	1.6	0.2
【性・年代別】												
男 性	219	67.6	45.7	12.8	12.3	13.2	3.7	4.6	1.4	4.1	1.8	0.5
女 性	259	73.7	39.0	20.1	16.6	10.8	3.1	1.2	1.9	5.8	1.5	0.0
男性 18～29歳	11	54.5	27.3	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0
30 歳代	17	64.7	52.9	29.4	17.6	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0
40 歳代	49	71.4	30.6	28.6	12.2	8.2	4.1	4.1	6.1	8.2	0.0	2.0
50 歳代	49	67.3	55.1	16.3	14.3	12.2	4.1	6.1	0.0	2.0	0.0	0.0
60 歳代	41	61.0	53.7	0.0	12.2	19.5	7.3	2.4	0.0	4.9	0.0	0.0
70～74歳	32	71.9	50.0	0.0	9.4	15.6	0.0	6.3	0.0	0.0	3.1	0.0
75歳以上	20	75.0	40.0	0.0	15.0	20.0	0.0	10.0	0.0	5.0	5.0	0.0
女性 18～29歳	12	50.0	58.3	16.7	16.7	8.3	8.3	0.0	16.7	8.3	0.0	0.0
30 歳代	38	89.5	21.1	31.6	23.7	7.9	7.9	0.0	2.6	5.3	0.0	0.0
40 歳代	60	75.0	38.3	45.0	13.3	8.3	1.7	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0
50 歳代	60	70.0	53.3	18.3	15.0	13.3	0.0	3.3	3.3	1.7	0.0	0.0
60 歳代	35	74.3	51.4	0.0	20.0	11.4	5.7	0.0	0.0	8.6	0.0	0.0
70～74歳	31	77.4	35.5	0.0	6.5	12.9	0.0	0.0	0.0	3.2	9.7	0.0
75歳以上	22	63.6	4.5	0.0	27.3	13.6	4.5	4.5	0.0	18.2	4.5	0.0

### 3 今後の暮らし向きの見通し【問3】

#### 【全体の状況】

今後の暮らし向きの見通しを尋ねたところ、「明るい」(5.1%)と「やや明るい」(9.2%)を合わせた《明るい》は14.3%であった。

一方、「暗い」(10.3%)と「やや暗い」(28.0%)を合わせた《暗い》は38.3%となり、《暗い》が《明るい》を24.0ポイント上回った。

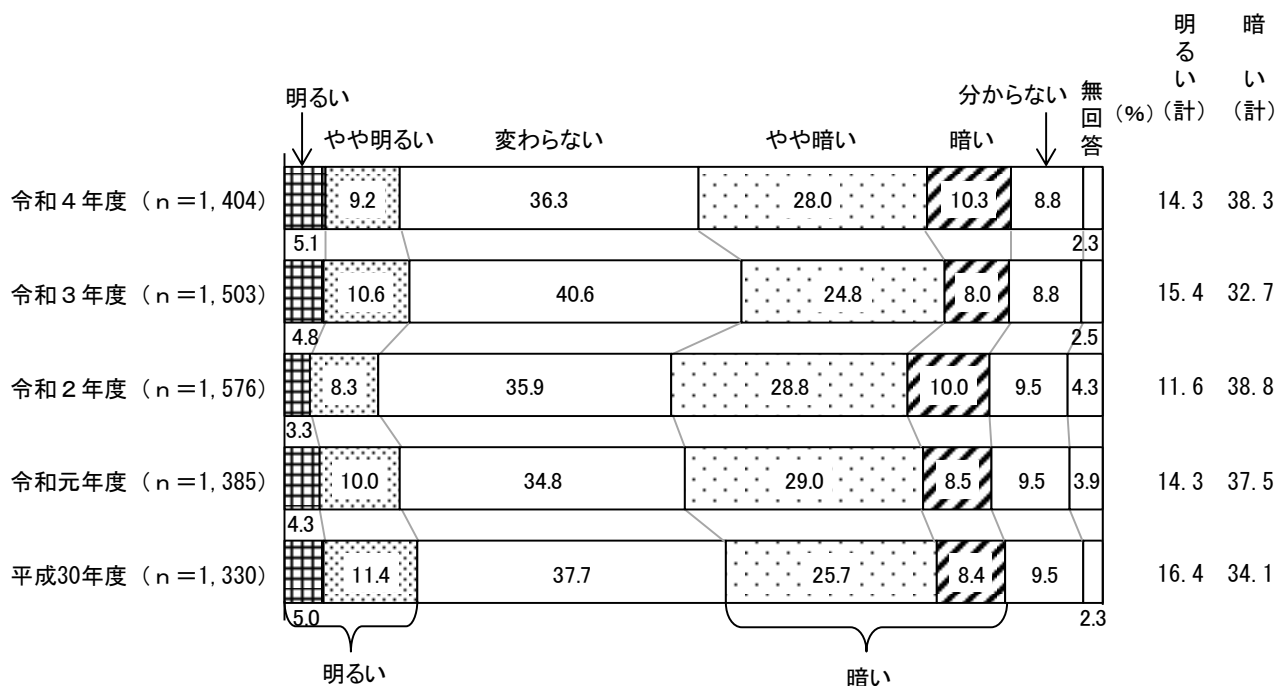
また、「変わらない」は、36.3%であった。(図表1-3-1)

#### 【過去との比較】

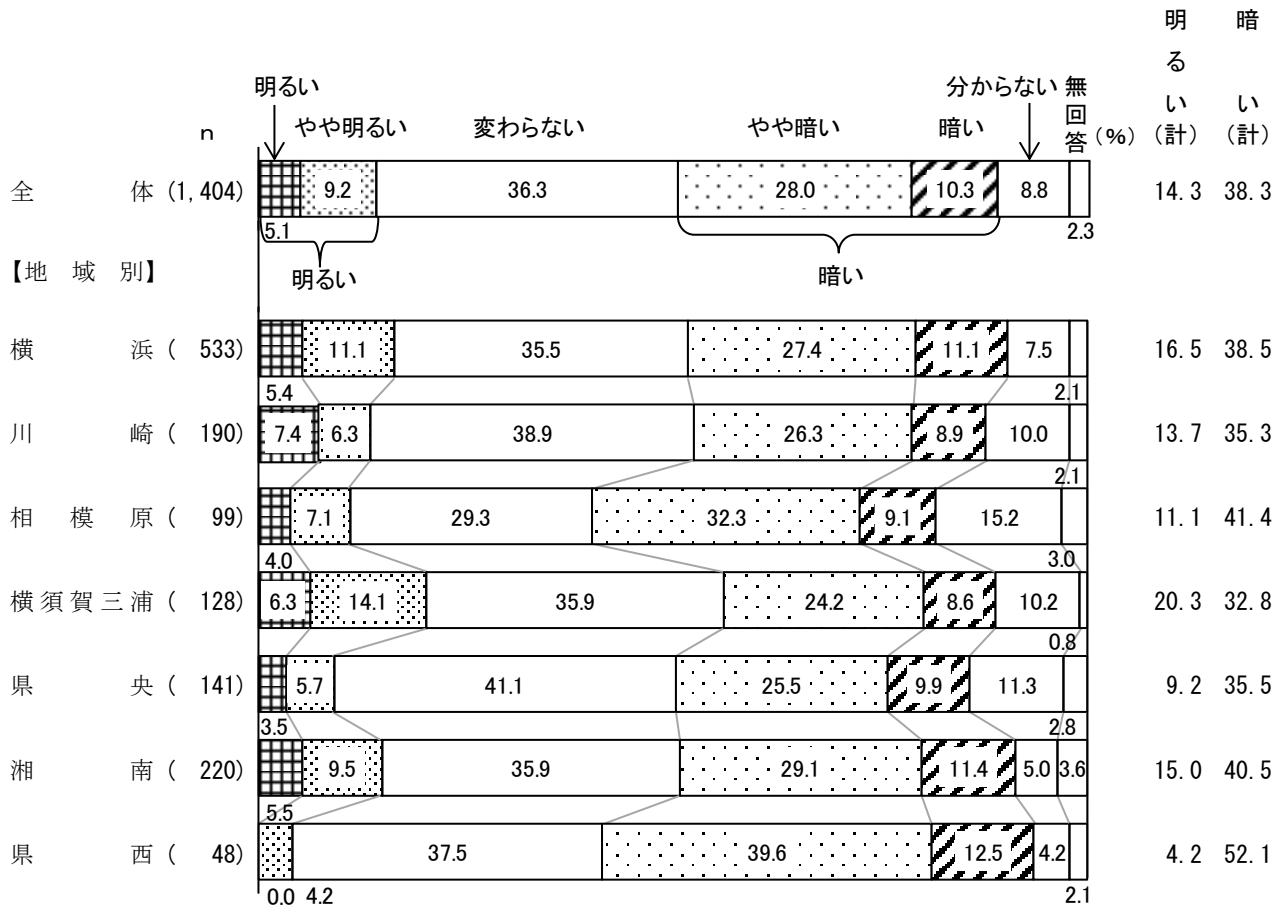
過去の調査と比較すると、《明るい》は、令和3年度は令和2年度と比べて3.8ポイント増(11.6%→15.4%)で、令和4年度は令和3年度と比べて1.1ポイント減(15.4%→14.3%)となった。

一方、《暗い》は、令和3年度は令和2年度と比べて6.1ポイント減(38.8%→32.7%)で、令和4年度は令和3年度と比べて5.6ポイント増(32.7%→38.3%)となった。(図表1-3-1)

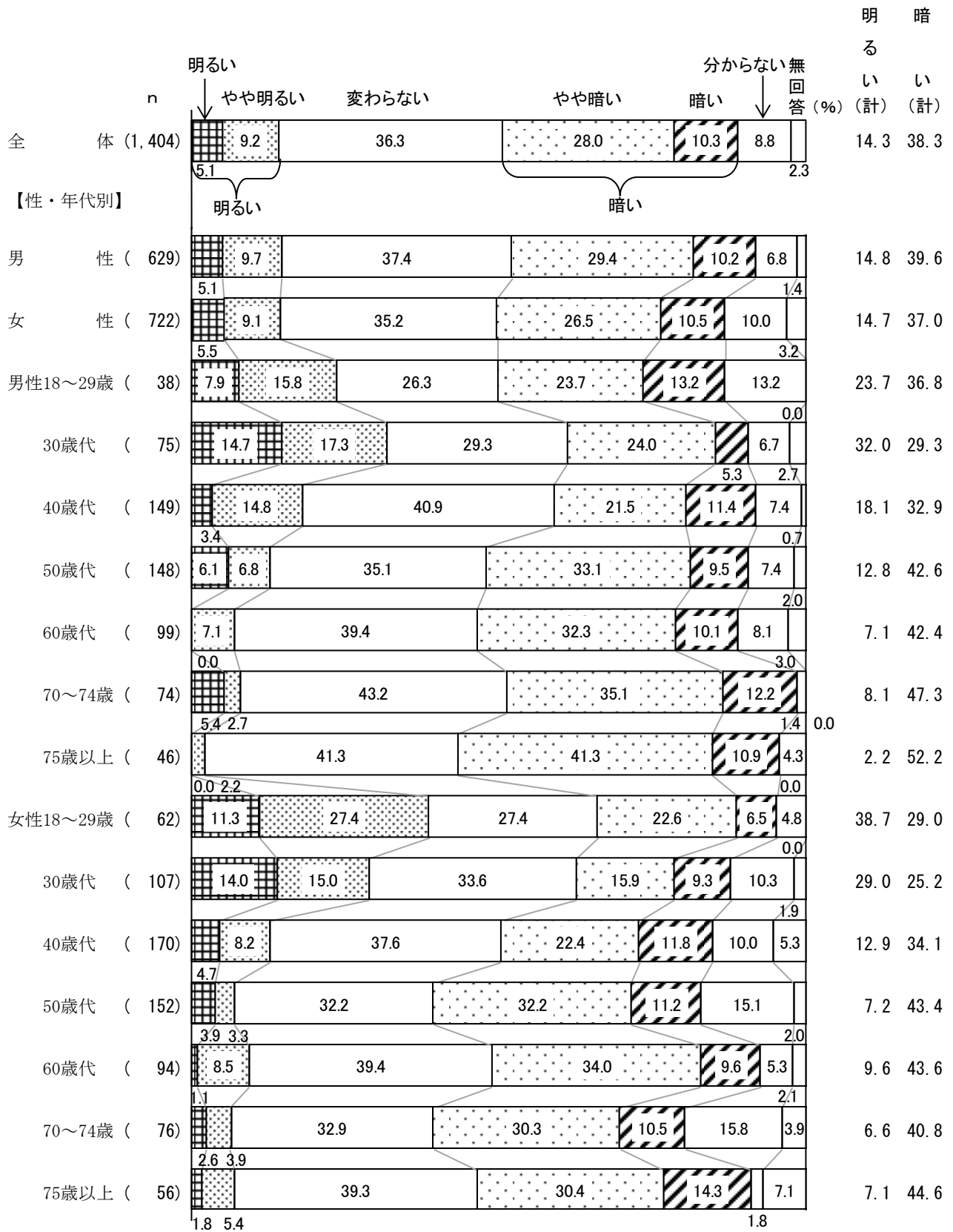
図表1-3-1 今後の暮らし向きの見通し—過去との比較



図表1-3-2 今後の暮らし向きの見通し—地域別



図表1-3-3 今後の暮らし向きの見通し－性・年代別



#### 4 地域の住みよさ【問4】

##### 【全体の状況】

現在住んでいる地域の住みよさについて尋ねたところ、「たいへん住みよい」(16.2%)と「どちらかといえば住みよい」(57.5%)を合わせた《住みよい》は73.6%であった。

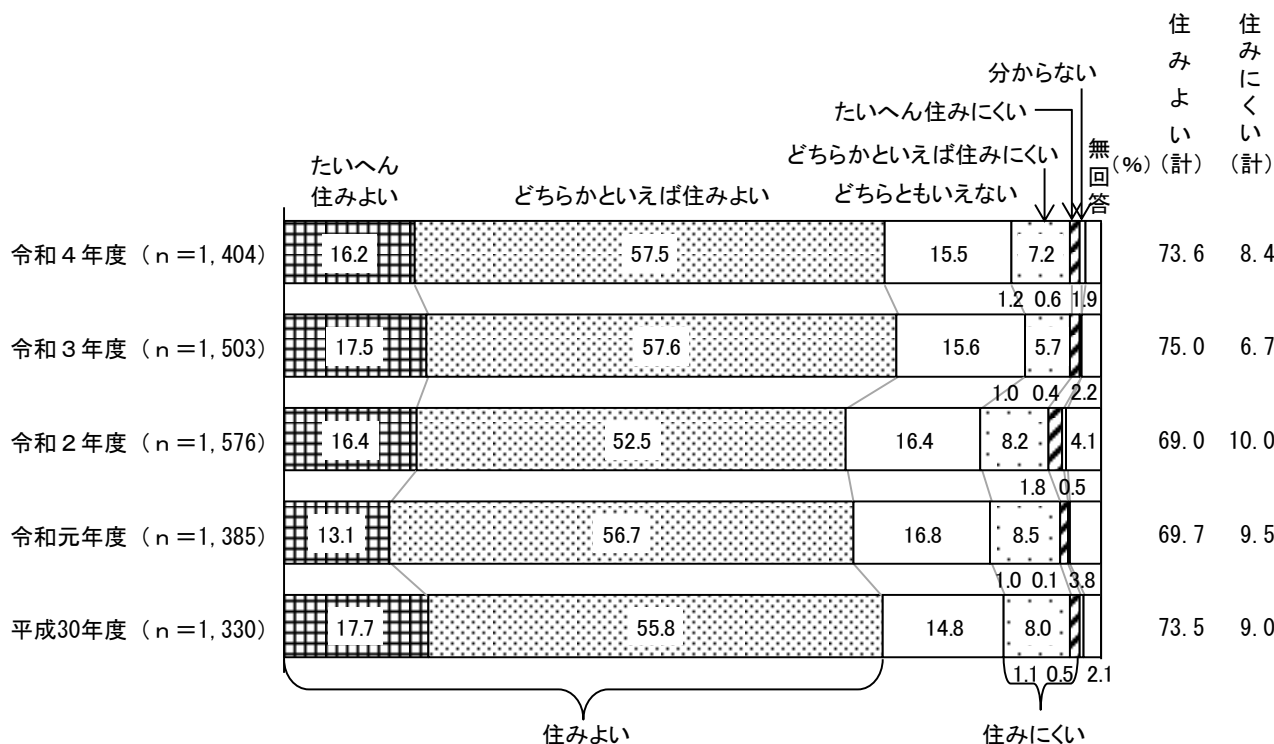
一方、「たいへん住みにくい」(1.2%)と「どちらかといえば住みにくい」(7.2%)を合わせた《住みにくい》は8.4%で、《住みよい》が《住みにくい》を65.2ポイント上回った。(図表1-4-1)

##### 【過去との比較】

過去の調査と比較すると、《住みよい》は、令和3年度は令和2年度と比べて6.0ポイント増(69.0%→75.0%)で、令和4年度は令和3年度と比べて1.4ポイント減(75.0%→73.6%)となった。

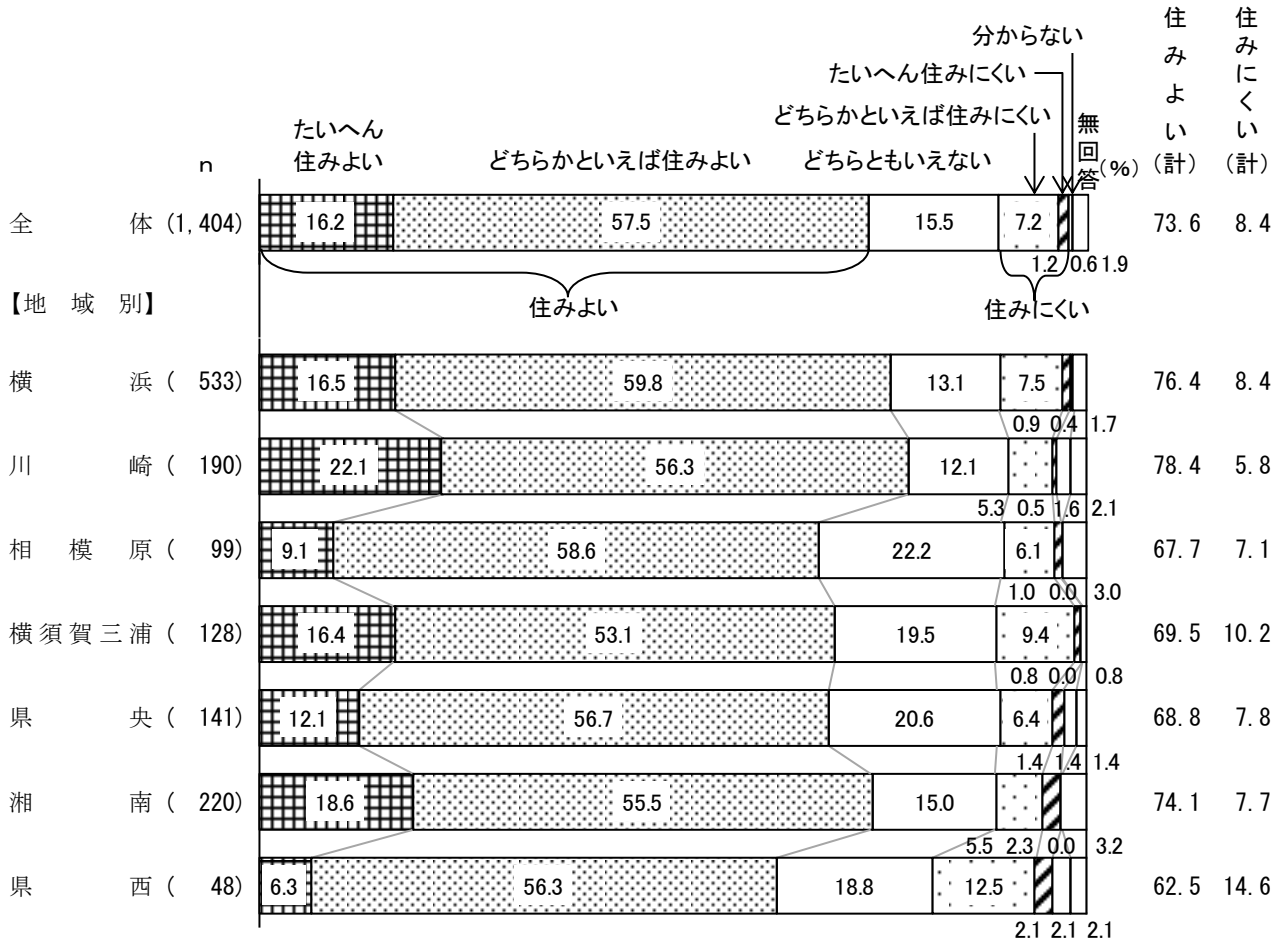
一方、《住みにくい》は、令和3年度は令和2年度と比べて3.3ポイント減(10.0%→6.7%)で、令和4年度は令和3年度と比べて1.7ポイント増(6.7%→8.4%)となった。(図表1-4-1)

図表1-4-1 地域の住みよさー過去との比較

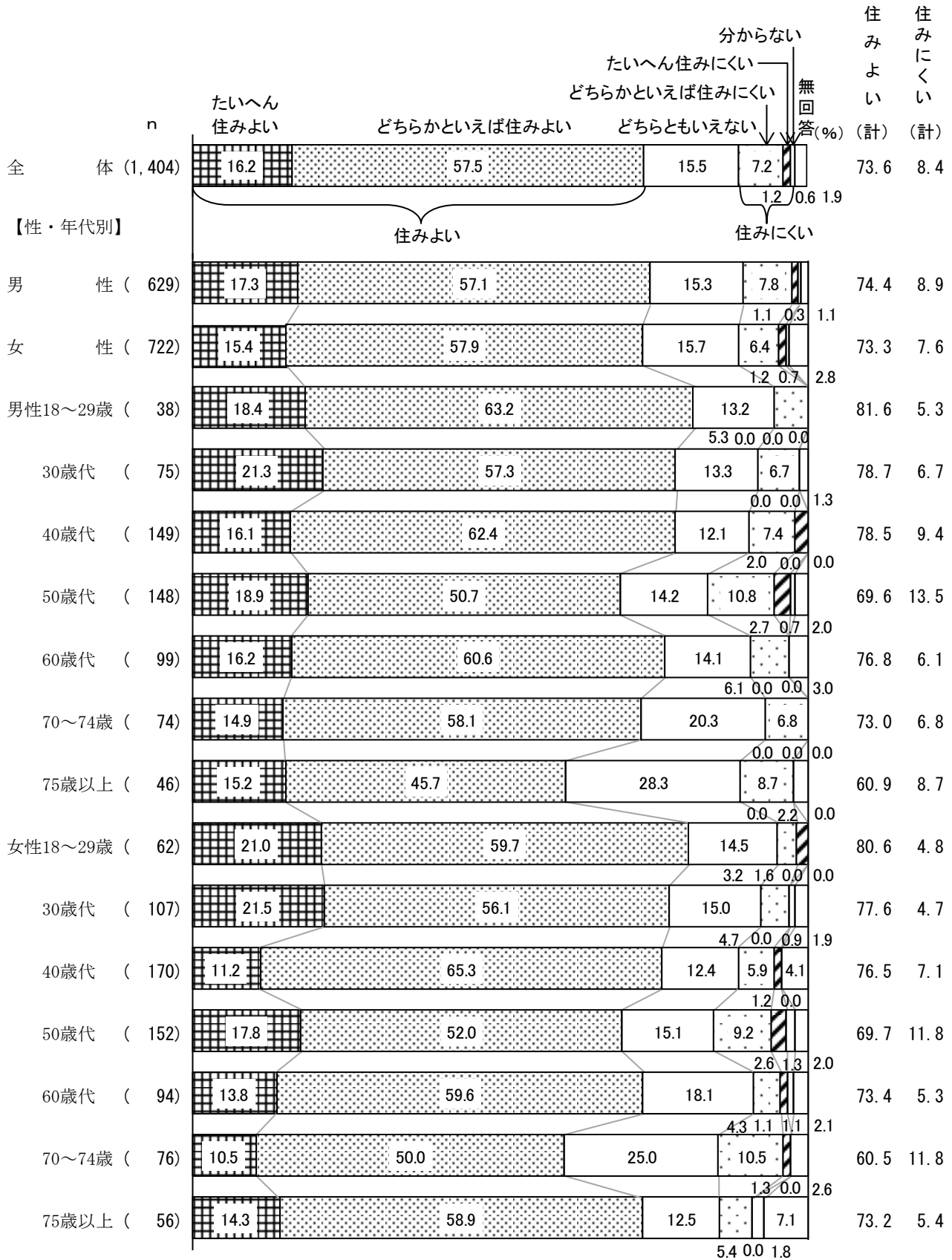




図表1-4-2 地域の住みよさ—地域別



図表1-4-3 地域の住みよさ—性・年代別



## 5 定住意向【問5】

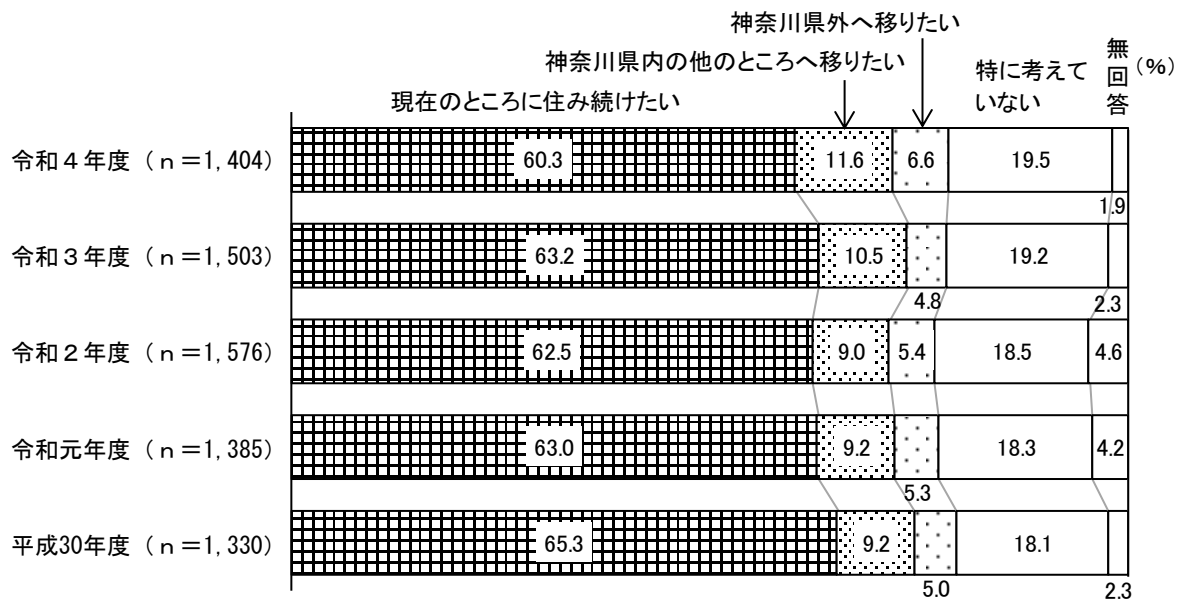
### 【全体の状況】

今後も現在のところに住み続けたいか尋ねたところ、「現在のところに住み続けたい」が60.3%で最も多かった。また、「神奈川県外へ移りたい」は、6.6%であった。（図表1-5-1）

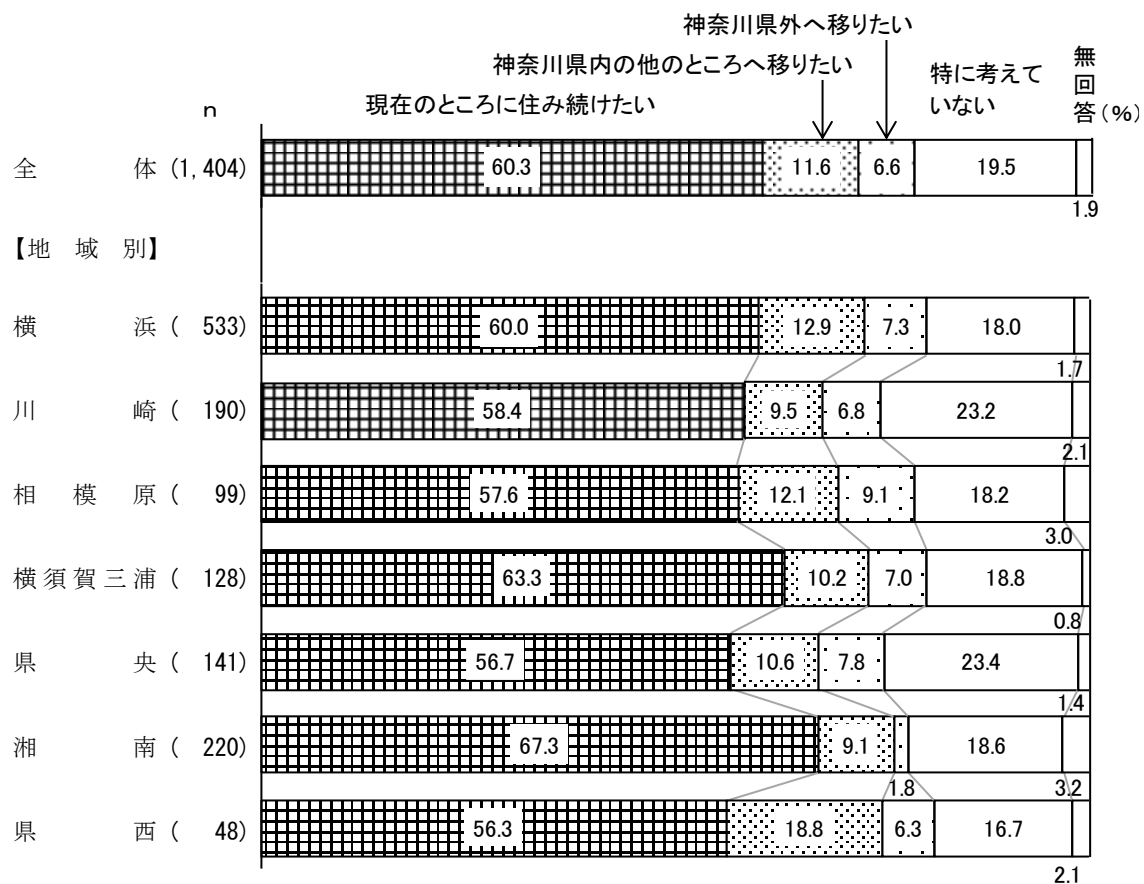
### 【過去との比較】

過去の調査と比較すると、「現在のところに住み続けたい」は、令和3年度は令和2年度と比べて0.7ポイント増（62.5%→63.2%）で、令和4年度は令和3年度と比べて2.9ポイント減（63.2%→60.3%）となった。（図表1-5-1）

図表1-5-1 定住意向－過去との比較



図表1-5-2 定住意向—地域別



図表1-5-3 定住意向－性・年代別

